

## 令和2年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立黒島小中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 56-2005			氏名	浜砂 聡
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)					
4月	実施テーマ	飲酒・酒気帯び運転を根絶しよう 児童生徒理解を深め、体罰を根絶しよう 情報セキュリティへの意識を深めよう 働きやすい職場をつくろう			
取組の評価・改善点 <b>【評価】</b> ・ 職員の自己目標管理シートに、体罰によらない指導や服務規律の遵守について自己目標を設定させ、年間を通して意識的に取り組むよう指導した。 ・ SNS等による具体的な情報漏洩の事例紹介等も随時行い、児童生徒の個人情報の保護について理解を深めた。 ・ 期限を意識した計画的な業務遂行と月の時間外労働時間を職員に意識化させることで、時間外労働の時間短縮を図ることができた。 <b>【改善点】</b> ・ 職員の意識の高まりが服務規律の徹底には重要であるため、今後も年間を通して、職員朝会をはじめ機会を捉えながら、繰り返し呼びかけを行っていくようにする。					
7月	実施テーマ	わいせつ行為、ハラスメントを防止しよう 成績等の個人情報の管理を徹底しよう			
取組の評価・改善点 <b>【評価】</b> ・ どのような行為がハラスメントにあたるのかを具体的に指導することで、教職員が日頃の自身の言動について振り返るなど、ハラスメント防止の意識を高めることができた。 ・ わいせつ行為等防止のための自己分析シートを使用した研修により自己を見つめなおし教職員としての服務規律の徹底及び倫理観の高揚を図ることができた。 ・ 確実なウイルスチェックや成績情報の管理について再確認し、教職員の情報管理についての意識を高めることができた。 <b>【改善点】</b> ・ 情報セキュリティについては、スマートスクール佐世保の本格実施も踏まえながら、校内セキュリティポリシー等に基づき、更なる管理・徹底を行っていく。					
12月	実施テーマ	飲酒・酒気帯び運転を根絶しよう			
取組の評価・改善点 <b>【評価】</b> ・ 出張や帰省時に、職員同士で随時安全運転を呼びかけることができた。 ・ 交通事故防止と不祥事防止に関する情報提供や呼びかけを随時行うことができた。今後も計画的に研修を位置づけ、更なる職員の意識向上を図っていく。 <b>【改善点】</b> ・ 教職員としての言動については、高い倫理規範が社会から求められている。特に、新型コロナウイルス感染症により普段以上に教職員として時と場に応じた行動が求められることから、今後も教育委員会通知等を十分活用し、職員の意識向上を図る。					
2 服務規律委員会					
委員会名	黒島小中学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員(6名 構成員：校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・保健主事) 外部委員(3名 役職等：育友会会長・学校評議員)				

### 3 年間を通しての計画の達成状況

#### 年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	キ	ク	コ						
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。  
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 不十分だった	<input type="radio"/> 実施していない
--------------------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------

資料添付

有

無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

#### 別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

##### 【工夫（例）】

##### ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

##### イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

##### ウ 外部講師を招いての講話

##### エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

##### オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

##### カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。